

令和5年度事業報告

法人

I. 法人基本理念

社会福祉法人カリヨンの基本理念である「福祉の視点から社会貢献を考え、多様な発想の中から、今できることに挑戦する」に従い、法人経営・施設運営を実践した。

II. 令和5年度の取り組み

根拠法令等を遵守し、適正な法人運営に努めた。新型コロナウイルスが5類感染症に移行され、理事会・評議員会の対面開催を再開した。施設運営においては、家族面会(高齢)の再開や保護者会、外出活動の実施(障がい)など徐々に利用者が従前の生活が送れるよう支援した。

障がい部門では、安定した経営のため全事業所利用率100%以上を目指し、成人事業所では利用率99.4%(85%~118%)、児童事業所では100%の利用率となった。今年度は新規受け入れ利用者が6名に留まったことに加え、年度内に14名の退所者があり障害福祉サービス事業収入が予算未達成となった。事業運営の安定と継続を目的に事業所のあり方を検討した結果、れもんワークスについて主従事業所を解消し一体的に運営できる物件を購入し、移転に向けての準備を行った。また、法人の事業計画でもあり、利用者・保護者ニーズの高かった「重度障がい者グループホーム」の建設に着手し整備を終えた。

高齢部門では、安定した経営を行うためライム及び令陽利用率95%、ようこそ利用率75%を目指したが、ライムは86.6%、令陽86%、ようこそは57.5%の結果となった。ライムにおいては7月下旬から11月上旬までの間、新型コロナウイルスと疥癬のクラスターが発生したことにより入所調整が出来なかったことが要因として挙げられる。令陽においては、入院率が4.7%と高く、12名が入所したが8名退所されたことが要因であった。ようこそにおいては、認知症の状態が重度化するにつれ、家庭での介護が困難となり、施設入所されて退所するケースが多く利用率が伸びなかった。

Ⅲ. 令和5年度における重点項目の結果

1. 障がい部門

目標

1 事業所運営の適正化を図る

- ・れもんワークスの主従の事業所を一体的に運営できる物件の確保と整備を行った。
(令和6年8月～9月移転予定)
- ・運営リスクのある事業所(吉野・徳島)の移転や再編成について準備した。

2 地域に貢献する

- ・徳島文理大学と連携し、世界初となる陸上養殖アオサノリを使用した製菓の開発に協力し商品化に成功した。
- ・そば文化継承事業が福祉新聞に取り上げられ、県内外から見学を受け入れた。
- ・みまもりレモン事業では地域の高齢者等買い物弱者支援を行った。

3 サービスの質の向上

- ・虐待防止・身体拘束適正化委員会を毎月実施し、不適切事案の早期発見に努めるとともに職員のメンタルケアにも対応した。
- ・利用者・保護者からの苦情対応には、第三者委員を交え、公平性、客観性を確保するとともに利用者の特性に配慮した適切な対応を推進した。

4 人材確保と育成

- ・製菓専門職を雇用し、専門性を活かした商品開発に取り組んだ。
- ・成績優秀な有期職員(臨時職員)3名を正規職員に転換させ人材の確保と育成に努めた。
- ・管理職(施設長)候補職員を中途採用し、組織力強化に努めた。
- ・資格取得を推進し、社会福祉士1名、介護福祉士1名が取得した。

5 リスクマネジメントに取り組む

- ・法人リスクマネージャーが中心となり、BCP(事業継続計画)の策定や評価、訓練に取り組んだ。

6 重度障がい者の受入れ推進

- ・各種助成金を活用し、各自の障がい特性とリスクに配慮した重度障がい者グループホーム(ホーム7)を建設し、「つながる家族」をテーマに重度障がいをもつ人の地域生活のニーズに応えた。(令和6年4月1日開所)

7 利用者工賃向上

- ・販路拡大会議を定例化(毎月開催)し、事業所間の情報共有、販売促進、施設外就労の開拓などに努めた結果、就労支援事業収入 61,217,521 円(前年度比 141%)を達成した。
- ・算定式の変更も相まって、全事業所(就労継続支援 B 型)の月平均工賃額が、15,000 円を超え、次年度の報酬単価向上につながった。

2. 高齢部門

1 医療機関との連携を強化し、高稼働を実現することで、経営安定化を図る

- ・ライムにおいては感染症発生時に TAOKA メディカル・ウェルフェア システムとの連携の元、物資の提供や受診、入院等が速やかに行われクラスターを最小限に留めることが出来た。
- ・令陽においては TAOKA メディカル・ウェルフェア システムの協力により、令和 6 年 3 月には 28 名の入所者となった。(定員 29 名)令和 6 年度早々には 29 名満床となる予定である。
- ・ようこそにおいては、TAOKA メディカル・ウェルフェア システム内の在宅事業部から認知症でお困りの方を紹介いただき、利用につながった。

2 人材の確保と育成を図る

- ・福祉人材(とりわけ介護職)が不足している中、派遣や人材紹介、外国人材(EPA 介護福祉士候補生)等、あらゆる手段を講じながら人材の確保に努めた。
- ・管理職候補員を採用し、組織力強化に努めた。
- ・資格取得を推進し、3 名(ライム 2 名、令陽 1 名)が介護福祉士を取得した。

3 コロナ禍からの脱却

- ・令和 5 年 5 月よりコロナウイルス感染症が 5 類に移行されたが、感染症対策は継続しながら面会制限の緩和を図る等、試行錯誤を続けている。
- ・利用者、家族の自由度を確保しながら、安心・安全の生活の場を提供している。

3. 法人事務

【理事会・評議員会】

日程	内容	提案事項	
R5. 6. 10	理 事 会	① 令和4年度事業報告案 ② 令和4年度決算報告案 ③ 理事選任案について ④ 監事選任案について ⑤ 評議員会の開催について	書面
R5. 6. 25	評 議 員 会	① 令和4年度事業報告案 ② 令和4年度決算報告案 ③ 理事選任について ④ 監事選任について ⑤ 定款変更について ⑥ 重度障がい者 GH 建設に係る設計監理契約について	出席者 8名
R5. 6. 25	理 事 会	① 理事長の選定について ② 重度障がい者 GH 建設に係る設計監理契約について	出席者 理事8名 監事2名
R5. 9. 15	理 事 会	① 銀行借入について(ホーム7)	書面
R6. 3. 13	理 事 会	① 銀行借入について(ホーム7・れもんワークス)	書面
R6. 3. 31	理 事 会	① 令和6年度事業計画案 ② 令和5年度補正予算案並びに令和6年度予算案 ③ 施設長人事について ④ 土地購入について ⑤ 就業規則変更について ⑥ 給与規程変更について ⑦ 運営規程変更について ⑧ 定款変更について ⑨ 評議員会の開催について	書面

【指導監査】

日程	内容	指摘事項
R5. 2. 14	法人監査 (法人運営)	理事利益相反取引の理事会承認・報告についてについて → 改善済み
	法人監査 (会計)	指摘事項なし
	施設監査 (ライム)	指摘事項なし
R5. 10. 27	運営指導 (ようこそ)	運営推進会議の記録と公表について → 改善済み

4. 法人職員状況

令和6年3月31日現在の職員数は下記の通りである。

【障がい部門】

	正規職員	臨時職員	スーパーバイザー・嘱託	パート職員	計
男性	24	2	5	9	40
女性	34	5	1	71	111
計	58	7	6	80	151
平均年齢 (歳)	42.2	49.5	65.5	53.8	49.9
平均勤続年数 (年)	10.5	4.8	4.5	6.4	7.6

【高齢部門】

	正規職員	準正規	スーパーバイザー	パート職員	計
男性	8	2	0	2	12
女性	21	4	0	21	46
計	29	6	0	23	58
平均年齢 (歳)	42.8	42.5	0	47.0	44.1
平均勤続年数 (年)	4.4	3.8	0	2.3	3.5

※副理事長、統括、統括補佐は障がい・高齢部門を兼務

(1) 令和5年度採用者

【障がい部門】

	正規職員	臨時職員	スーパーバイザー・嘱託	パート職員	計
男性	4	0	0	3	7
女性	2	0	0	2	4
計	6	0	0	5	11

【高齢部門】

	正規職員	準正規	スーパーバイザー	パート職員	計
男性	3	0	0	1	4
女性	4	1	0	9	14
計	7	1	0	10	18

(2) 令和5年度退職者

【障がい部門】

	正規職員	臨時職員	スーパーバイザー・嘱託	パート職員	計
男性	1	0	0	2	3
女性	2	2	0	10	14
計	3	2	0	12	17

※退職者の平均勤続年数は3年3か月である。

【高齢部門】

	正規職員	準正規	スーパーバイザー	パート職員	計
男性	1	0	0	1	2
女性	3	2	0	5	10
計	4	2	0	6	12

※退職者の平均勤続年数は3年6か月である。